

芦田川さかなマップ

府中大渡橋

調査した場所
田畑の間に家がまばらにあるような場所。比較的水はきれいで、川幅は広く、水の流れは早い。川の中に州がたぐさあり、草が茂っているため、水辺の生物にとて生きやすい環境だといえる。見かける魚の種類が多く、アカザも見られる。川岸が整備され、川の中に入りやすくなっている。

6★
アユ
本州全域に住んでいる。天然アユは減少しているため、琵琶湖などから稚魚を取り育てて放流している。石の表面に付いている藻も食べる。中流に多くいる。

25★★★★★
カワムツ
本州中部以西に生息しているが、現在では関東地方でも見られる。河川の上、中流や流れのゆるやかな瀬に多くいる。なわばり意識が強く雑食性で昆虫や藻など食べる。太い一本の暗色の縦縞があるのが特徴。

特 16★
オオクチバス(別名:ブラックバス)
アメリカ原産で、今では国内のほぼ全域に分布している。止水や流れのゆるやかな河川に生息し、大きな口で魚類や甲殻類を食べる。体側から背にかけて不規則な暗斑があり、腹側が黄味を帯びた白色となっているのが特徴。特定外来種に指定されている。

特 25★★★★★
ワカマツ
本州中部以西に生息しているが、現在では関東地方でも見られる。河川の上、中流や流れのゆるやかな瀬に多くいる。なわばり意識が強く雑食性で昆虫や藻など食べる。太い一本の暗色の縦縞があるのが特徴。

25★★★★★
タモロコ
山陽地方では全県で見られる。川の中、下流域の静かな場所や池などのよどんだ水域に多くいる。稚魚は溶いて動物プランクトンを食べ、1年で成魚し、成魚は動物質を中心とした雑食。以前は池などに多くいたが最近では見られなくなっている。

19★
カマリカ
本州、四国、九州に分布し、用水路の砂や石の川底で流れのゆるやかな場所で見られる。口が下向きについていて、くちびるが大きい。口からえさを咥え、はき出し、エラから水を吐き出す。

24★★
イトモロコ
本州、四国、九州の一部に分布し、冷たく水のきれいな水場の砂底にいる。眼下にとげがたまたまれており、手でにぎると現れる。おぼろいなりすると砂によくもぐめる。川底で小型水生昆虫、底生藻類、有機物を砂と一緒に食べ、砂かけをえている。

20★★
コウライニゴイ
関東以西の本州、四国、九州に分布し、河川中・下流域および湖沼に広く生息する。稚魚で付着藻類から水生昆虫や藻などを食べる。また、成長した後も、下流に生息する。砂を好み、水中小動物や藻を食べる。

25★★★★★
メダカ
濃尾平野以西から九州北部の下流域域に生息している。夏季には本流から水を引く用水路にも生息。体側に青や緑色などの輝きが見られる。動物食性の雑食性。産卵はメスが1回、産卵後にはメスが死んでしまう。

25★★★★★
アカザ
宮城県・秋田県以南の本州、四国、九州に広く分布する。水が比較的きれいな川の中流から上流下流の瀬の石の下や間にすみ、石のすき間をかくぐくぐに泳ぐことが多く、背びれに1本、胸びれに1本ずつ計4本の大きなトゲがあり、トゲには毒線があるのでさわると痛い。芦田川水系での生息数はきわめて少ない。

17★★
ズナガニゴイ
近畿地方以西の限られた川にしかいない。川の中流から下流域に分布し流れのゆるやかな川底に生み砂にもぐって水生昆虫などを食べる。普通のニゴイよりも体が小さいが頭と吻は長く、体側に小黒点の列がある。

25★★★★★
ドンコ
東北を除く本州全域に住む。中流から下流に多い。夜行性の傾向が強く、砂底を好み、小魚・エビ・カニ・水生昆虫を食べる。広島県内では減少しているが、芦田川水系では、比較的安定した個体群がいる。

特 25★★★★★
アヒル
原産地は北アメリカ中東部一帯で、現在は日本各地に分布。幼魚は暗褐色の模様が、成魚は上端に黒色の縦縞がある。成長が早い。

25★★★★★
ナマズ
本州中部以西に生息しているが、現在では関東地方でも見られる。河川の上、中流や流れのゆるやかな瀬に多くいる。なわばり意識が強く雑食性で昆虫や藻など食べる。太い一本の暗色の縦縞があるのが特徴。

25★★★★★
カワムツ
本州中部以西に生息しているが、現在では関東地方でも見られる。河川の上、中流や流れのゆるやかな瀬に多くいる。なわばり意識が強く雑食性で昆虫や藻など食べる。太い一本の暗色の縦縞があるのが特徴。

25★★★★★
メダカ
濃尾平野以西から九州北部の下流域域に生息している。夏季には本流から水を引く用水路にも生息。体側に青や緑色などの輝きが見られる。動物食性の雑食性。産卵はメスが1回、産卵後にはメスが死んでしまう。

25★★★★★
カワムツ
本州中部以西に生息しているが、現在では関東地方でも見られる。河川の上、中流や流れのゆるやかな瀬に多くいる。なわばり意識が強く雑食性で昆虫や藻など食べる。太い一本の暗色の縦縞があるのが特徴。

25★★★★★
メダカ
濃尾平野以西から九州北部の下流域域に生息している。夏季には本流から水を引く用水路にも生息。体側に青や緑色などの輝きが見られる。動物食性の雑食性。産卵はメスが1回、産卵後にはメスが死んでしまう。

25★★★★★
カワムツ
本州中部以西に生息しているが、現在では関東地方でも見られる。河川の上、中流や流れのゆるやかな瀬に多くいる。なわばり意識が強く雑食性で昆虫や藻など食べる。太い一本の暗色の縦縞があるのが特徴。

25★★★★★
ギギ
本州中部以南、四国、九州の東部に分布し、比較的水がきれいで、石や流木、石垣などがあるところで見られる。背びれと胸びれのとげが鋭く、つかまえると胸びれでギギギと鳴く。

25★★★★★
ムギツク
琵琶湖以西の本州と、九州北部に分布し、大きな石があるようなところのよどみにいる。小さなあひるの口のように開いていて、すぐ口が閉じられてしまう。石についている水生昆虫を食べる。

25★★★★★
ムギツク
琵琶湖以西の本州と、九州北部に分布し、大きな石があるようなところのよどみにいる。小さなあひるの口のように開いていて、すぐ口が閉じられてしまう。石についている水生昆虫を食べる。

11★
セリタナゴ
北海道と南九州を除く各地に生息し、平野部の細流や用水路上部などの水の流れる場所にいる。ソウメンをよく食べ、メダカやイシガキなどに産卵する。銀白色で体幅が狭く、背びれに黒い斑がある。

11★
ウナギ
太平洋側は北海道・日本海側は石狩川以南の日本各地に分布する。背側は暗色で、腹側は白色、特別の斑紋はない。春から秋に至ると水生昆虫類、小型の魚類、貝類、エビ類、カエル類などを活発にとり、成長する。

25★★★★★
オオシマドジョウ
本州中部以西に生息しているが、現在では関東地方でも見られる。河川の上、中流や流れのゆるやかな瀬に多くいる。なわばり意識が強く雑食性で昆虫や藻など食べる。太い一本の暗色の縦縞があるのが特徴。

25★★★★★
コイ
日本各地に分布。流れのゆるやかな淵などにすみ。岸辺の植物や浅瀬の水草などに産卵する。雑食性で、底生動物のタニシやイトミミズ、水草などを食べる。

25★★★★★
カワムツ
本州中部以西に生息しているが、現在では関東地方でも見られる。河川の上、中流や流れのゆるやかな瀬に多くいる。なわばり意識が強く雑食性で昆虫や藻など食べる。太い一本の暗色の縦縞があるのが特徴。

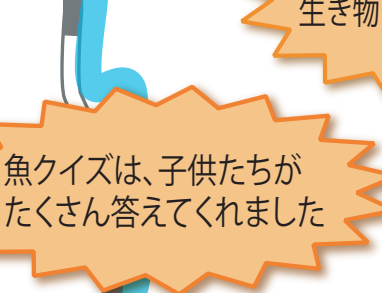
25★★★★★
メダカ
濃尾平野以西から九州北部の下流域域に生息している。夏季には本流から水を引く用水路にも生息。体側に青や緑色などの輝きが見られる。動物食性の雑食性。産卵はメスが1回、産卵後にはメスが死んでしまう。

25★★★★★
カワムツ
本州中部以西に生息しているが、現在では関東地方でも見られる。河川の上、中流や流れのゆるやかな瀬に多くいる。なわばり意識が強く雑食性で昆虫や藻など食べる。太い一本の暗色の縦縞があるのが特徴。

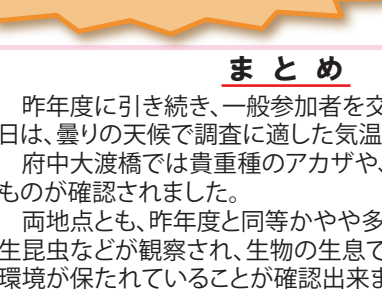
25★★★★★
メダカ
濃尾平野以西から九州北部の下流域域に生息している。夏季には本流から水を引く用水路にも生息。体側に青や緑色などの輝きが見られる。動物食性の雑食性。産卵はメスが1回、産卵後にはメスが死んでしまう。

25★★★★★
カワムツ
本州中部以西に生息しているが、現在では関東地方でも見られる。河川の上、中流や流れのゆるやかな瀬に多くいる。なわばり意識が強く雑食性で昆虫や藻など食べる。太い一本の暗色の縦縞があるのが特徴。

2025年9月28日作成



凡例 ○内の数字は確認された最新年度です。
25 2025年 19 2019年 11 2011年 5 2005年
24 2024年 17 2017年 10 2010年
23 2023年 16 2016年 9 2009年
22 2022年 15 2015年 8 2008年
21 2021年 14 2014年 7 2007年
20 2020年 13 2013年 6 2006年
見つかる度: 星★の数が多いほど、見つかった回数が多いことを示します。
★20%未満、★★20~40%、★★★40~60%、★★★★60~80%、★★★★★80~100%
(特) 特定外来生物
(貴) きれいな川に住む魚など、芦田川にとって貴重な種類。



17★★
タモロコ
山陽地方では全県で見られる。川の中、下流域の静かな場所や池などのよどんだ水域に多くいる。稚魚は溶いて動物プランクトンを食べ、1年で成魚し、成魚は動物質を中心とした雑食。以前は池などに多くいたが最近では見られなくなっている。

25★★★★★
オオシマドジョウ
本州、四国、九州の一部に分布し、冷たく水のきれいな水場の砂底にいる。眼下にとげがたまたまれており、手でにぎると現れる。おぼろいなりすると砂によくもぐめる。川底で小型水生昆虫、底生藻類、有機物を砂と一緒に食べ、砂かけをえている。

25★★★★★
ギンギョ
全国各地に分布する。川の下流の淀みや、平地の低湿地や沼地に生息する。雑食性で底生動物や藻類などのほかに、場所によっては動物プランクトンなども食べる。ギンギョには、雄はない。

8★
ドジョウ
全国各地に分布。流れのゆるやかな淵などにすみ。岸辺の植物や浅瀬の水草などに産卵する。雑食性で、底生動物のタニシやイトミミズ、水草などを食べる。

特 14★
オオクチバス
アメリカ原産で、今では国内のほぼ全域に分布している。止水や流れのゆるやかな河川に生息し、大きな口で魚類や甲殻類を食べる。体側から背にかけて不規則な暗斑があり、腹側が黄味を帯びた白色となっているのが特徴。特定外来種に指定されている。

25★★★★★
カワムツ
本州中部以西に生息しているが、現在では関東地方でも見られる。河川の上、中流や流れのゆるやかな瀬に多くいる。なわばり意識が強く雑食性で昆虫や藻など食べる。太い一本の暗色の縦縞があるのが特徴。

25★★★★★
メダカ
濃尾平野以西から九州北部の下流域域に生息している。夏季には本流から水を引く用水路にも生息。体側に青や緑色などの輝きが見られる。動物食性の雑食性。産卵はメスが1回、産卵後にはメスが死んでしまう。

25★★★★★
カワムツ
本州中部以西に生息しているが、現在では関東地方でも見られる。河川の上、中流や流れのゆるやかな瀬に多くいる。なわばり意識が強く雑食性で昆虫や藻など食べる。太い一本の暗色の縦縞があるのが特徴。

25★★★★★
メダカ
濃尾平野以西から九州北部の下流域域に生息している。夏季には本流から水を引く用水路にも生息。体側に青や緑色などの輝きが見られる。動物食性の雑食性。産卵はメスが1回、産卵後にはメスが死んでしまう。

調査した場所
出口川は町の中をながれていて、生活排水が流れこむ川である。川岸には草が茂く生えているが、雑草に釣り込みが行われていて、魚のすみが減っている。川幅が狭く流れがゆるい。川底は砂が積もっていて魚の種類が多く、カワヨシノボリが定着している。

23★★★★★
カマリカ
本州、四国、九州に分布し、用水路の砂や石の川底で流れのゆるやかな場所で見られる。口が下向きについていて、くちびるが大きい。口からえさを咥え、はき出し、エラから水を吐き出す。

22★★★★★
コウライニゴイ
関東以西の本州、四国、九州に分布し、河川中・下流域および湖沼に広く生息する。稚魚で付着藻類から水生昆虫や藻などを食べる。また、成長した後も、下流に生息する。砂を好み、水中小動物や藻を食べる。

8★★
イトモロコ
本州、四国、九州の一部に分布し、冷たく水のきれいな水場の砂底にいる。眼下にとげがたまたまれており、手でにぎると現れる。おぼろいなりすると砂によくもぐめる。川底で小型水生昆虫、底生藻類、有機物を砂と一緒に食べ、砂かけをえている。

13★
タナハ
日本海側では富山県以西、太平洋側では静岡県以西の本州、四国、九州に分布し、上流部の植物の根回りなどにみられる。ワカマツがとくも小さく、体長は最大10cm程度。

14★
ナマズ
本州中部以西に生息しているが、現在では関東地方でも見られる。河川の上、中流や流れのゆるやかな瀬に多くいる。なわばり意識が強く雑食性で昆虫や藻など食べる。太い一本の暗色の縦縞があるのが特徴。

25★★★★★
カワムツ
本州中部以西に生息しているが、現在では関東地方でも見られる。河川の上、中流や流れのゆるやかな瀬に多くいる。なわばり意識が強く雑食性で昆虫や藻など食べる。太い一本の暗色の縦縞があるのが特徴。

25★★★★★
メダカ
濃尾平野以西から九州北部の下流域域に生息している。夏季には本流から水を引く用水路にも生息。体側に青や緑色などの輝きが見られる。動物食性の雑食性。産卵はメスが1回、産卵後にはメスが死んでしまう。

25★★★★★
カワムツ
本州中部以西に生息しているが、現在では関東地方でも見られる。河川の上、中流や流れのゆるやかな瀬に多くいる。なわばり意識が強く雑食性で昆虫や藻など食べる。太い一本の暗色の縦縞があるのが特徴。

出口川
25★★★★★
カワヨシノボリ
中部地方以西の西日本に住む。上流部の流れのゆるやかな所にすみ、藻類や小型の水生昆虫を食べる。止水域にはなぜか生息できない。

25★★★★★
オイカワ
関東以西の本州、四国、九州に分布し、河川中・下流域および湖沼に広く生息する。稚魚で付着藻類から水生昆虫や藻などを食べる。また、成長した後も、下流に生息する。砂を好み、水中小動物や藻を食べる。

11★
メダカ
濃尾平野以西から九州北部の下流域域に生息している。夏季には本流から水を引く用水路にも生息。体側に青や緑色などの輝きが見られる。動物食性の雑食性。産卵はメスが1回、産卵後にはメスが死んでしまう。

25★★★★★
カワムツ
本州中部以西に生息しているが、現在では関東地方でも見られる。河川の上、中流や流れのゆるやかな瀬に多くいる。なわばり意識が強く雑食性で昆虫や藻など食べる。太い一本の暗色の縦縞があるのが特徴。

25★★★★★
メダカ
濃尾平野以西から九州北部の下流域域に生息している。夏季には本流から水を引く用水路にも生息。体側に青や緑色などの輝きが見られる。動物食性の雑食性。産卵はメスが1回、産卵後にはメスが死んでしまう。

25★★★★★
カワムツ
本州中部以西に生息しているが、現在では関東地方でも見られる。河川の上、中流や流れのゆるやかな瀬に多くいる。なわばり意識が強く雑食性で昆虫や藻など食べる。太い一本の暗色の縦縞があるのが特徴。

25★★★★★
メダカ
濃尾平野以西から九州北部の下流域域に生息している。夏季には本流から水を引く用水路にも生息。体側に青や緑色などの輝きが見られる。動物食性の雑食性。産卵はメスが1回、産卵後にはメスが死んでしまう。

25★★★★★
カワムツ
本州中部以西に生息しているが、現在では関東地方でも見られる。河川の上、中流や流れのゆるやかな瀬に多くいる。なわばり意識が強く雑食性で昆虫や藻など食べる。太い一本の暗色の縦縞があるのが特徴。

25★★★★★
メダカ
濃尾平野以西から九州北部の下流域域に生息している。夏季には本流から水を引く用水路にも生息。体側に青や緑色などの輝きが見られる。動物食性の雑食性。産卵はメスが1回、産卵後にはメスが死んでしまう。



魚クイズは、子供たちがたくさん答えてくれました

芦田川と出口川で、魚と生き物いろいろ取れたよ

流域治水について学びました!

まとめ

昨年度に引き続き、一般参加者を交え実施された調査日は、曇りの天候で調査に適した気温でした。府中大渡橋では貴重種のアカザや、様々な種類のいきものが確認されました。両地点とも、昨年度と同等かやや多くの種類の魚や水生昆虫などが観察され、生物の生息できる水辺や川底の環境が保たれていることが確認出来ました。一方で、ブルーギル等の外来種も確認されました。また、きれいな水を示す指標生物が多く観察されたことから、芦田川・出口川の水も良好であり、様々ないきものにとって棲みやすい環境であることが確認されました。

府中大渡橋で見つけた生物

- ・ヒラタカゲロウ ・ナガレトビケラ
- ・コガタシマトビケラ ・オオシマトビケラ
- ・ヒラタドロムシ ・コオニヤンマ
- ・カワニナ ・ハグロトンボ ・ミズカマキリ
- ・スジエビ ・シジミ属 ・カゲロウ目
- ・モエビ ・ヌマエビ科 ・トンボ目
- ・ヒゲナガカワトビケラ ・アメンボ
- ・サナエトンボ科 ・カワトンボ科
- ・コシボソヤンマ

出口川で見つけた生物

- ・ヒラタカゲロウ ・オオシマトビケラ ・ヒラタドロムシ
- ・コオニヤンマ ・カワニナ ・ハグロトンボ ・アメリカザリガニ
- ・シジミ属 ・スジエビ ・モクスガニ ・ギンヤンマ ・アメンボ
- ・スッポン ・ウシガエル ・サナエトンボ科 ・タニシ ・ヌマエビ科
- ・カゲロウ目 ・シマトビケラ類 ・コヤマトンボ ・オナガサナエ
- ・キイロヤマトンボ

水質調査結果(バックテスト等) 調査日: 2025年9月28日		
項目	芦田川府中大渡橋	出口川
時間	10時30分	9時45分
気温 (℃)	21.5℃	22℃
水温 (℃)	22℃	26℃
透明度	100cm以上	100cm以上
pH	7.4	7.2
OD (mg/l)	2.5mg/L	2mg/L
亜硝酸 (mg/l)	0.01mg/L	0.02mg/L
リン酸 (mg/l)	0.05mg/L	0.05mg/L